

ICC2012 Post conference

第209回生存圏シンポジウム

ナノセルロース サミット 2012

Nanocellulose Summit 2012



ナノセルロース（セルロースナノファイバー、セルロースナノクリスタル）は世界で今注目されている植物資源由来のナノ材料です。ナノセルロースに関する世界のトップサイエンティスト及び大型プロジェクトのリーダーが一堂に会し、各国のナノセルロース研究および実用化の現状・展望について議論します。ぜひご参加ください。

• 2012年 **10月15日 (月)**

• **京都テルサ** (裏面に会場案内図)

• [入場無料] [同時通訳]
(要旨集 (希望者) : 3,000円)



Dr. Antti Laukkanen
Manager, Fibril Cellulose Unit, UPM, Finland



Dr. Richard Berry
CTO, CelluForce, Canada



Dr. Tanja Zimmermann
Head, Applied Wood materials and Cellulose Nanocomposites Laboratory, Empa (Swiss Federal Laboratories for Materials Science and Technology), Switzerland



Prof. Derek G. Gray
Emeritus Professor, McGill University, Canada



Prof. Kristiina Oksman
Director, Composites Centre Sweden, Luleå University of Technology, Sweden



Prof. Lars Berglund
Director, Wallenberg Wood Science Center, Royal Inst of Technology, Sweden



Pia Qvintus
Technology Manager, Nanocellulose Center, VTT (Technical Research Center of Finland), Finland



Prof. Akira Isogai
Professor, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, University of Tokyo, Japan



Prof. Hiroyuki Yano
Professor, Research institute for Sustainable Humansphere, Kyoto University, Japan

**ナノセルロース
ポスター展示 同時開催**



主催:

- 京都大学生存圏研究所
- 京都市産業技術研究所
- 財団法人京都高度技術研究所
- 東京大学大学院農学生命科学研究科
- Nanocellulose Summit 2012 運営委員会

- Wallenberg Wood Science Center, Royal Inst of Technology, Sweden
- Composites Centre Sweden, Luleå University of Technology, Sweden
- Swiss Federal Laboratories for Materials Science and Technology, Switzerland
- Technical Research Center of Finland, Finland

Program

[9:30 受付開始]

10:30 Opening remarks

10:40 Prof. A. Isogai (東京大学、日本)

日本を代表するナノセルロース研究者。

開発したTEMPO酸化によるシングルセルロースナノファイバーは、世界で最もホットなナノセルロースの一つ。

11:10 Prof. D. Gray (マギル大学、カナダ)

セルロースナノクリスタル(CNC)研究のバイオニア。

現在もなおCNCの製造と利用に関する研究分野のトップランナー。

11:40 Prof. K. Oksman (ルレア工科大学、スウェーデン)

セルロースナノファイバーに関する代表的研究者。

磁場による配向、バイオリファイナード残渣からのナノセルロース製造、ナノセルロース・樹脂コンパウンディング技術の開発等、基礎から応用まで幅広く研究。

12:10-13:30 休憩

13:30 Prof. L. Berglund (スウェーデン王立工科大学、スウェーデン)

セルロースナノファイバーの製造・機能化・構造化を主要テーマとした大型プロジェクト(5,000万ユーロ)のリーダー。機能性無機材料との複合化、エアロゲルの製造など多彩な研究を推進中。

14:00 Dr. T. Zimmerman (スイス材料科学技術研究所、スイス)

セルロースナノファイバーに関する代表的研究者。

ナノセルロースの製造、食品利用、樹脂との複合化、等、基礎から応用まで幅広く研究。

14:30 Ms. P. Qvintus (フィンランド産業技術研究センター、フィンランド)

フィンランド、VTTナノセルロースセンターの技術責任者。

ナノセルロースに関する大型プロジェクト(5,000万ユーロ)を推進中。

15:00-15:30 休憩

15:30 Dr. A. Laukkanen (UPM、フィンランド)

UPM(フィンランドを代表する製紙会社)がVTT、アールト大学と進めているナノセルロース事業化に関するプロジェクトのUPM技術責任者。日産1tonのCNF製造プラントや透明シート製造プラントを稼働中。

16:00 Dr. R. Berry (セルフォース、カナダ)

CelluForce(日産1トンのセルロースナノクリスタル製造プラントを立ち上げ、稼働中のベンチャー)のCTO。

長年にわたりCNCの開発研究に従事。関連業績で多数の受賞歴。

16:30 Prof. H. Yano (京都大学、日本)

2000年にセルロースナノファイバーを用いた材料開発を開始。異分野垂直連携のプロジェクトを推進中。

17:15 Concluding remarks

参加申込はホームページから

<http://www.astem.or.jp/biocity/wn/summit2012.html>

E-mailでお申込みの場合は、件名を「NanoCellulose SUMMIT2012 申込」とした上で、①お名前、②ご所属・部署・役職、③E-mailアドレス、④要旨集(当日配布3,000円)の必要有無、⑤個人情報(①~③)の提供に同意する旨を明記して、

E-mail: biocity@astem.or.jp宛に、お申し込みください。

財団法人 京都高度技術研究所 産学連携事業部
連携支援グループ(遠藤・内海)

E-mail: biocity@astem.or.jp TEL: 075-315-6736

※メールをお送りいただく場合、暗号化(SSLなど)をしておりませんので、記入いただいた個人情報の漏洩・盗聴などの危険性があることを予めご承知おき下さい。
※なお、お申込みの際は、必ず事前に(財)京都高度技術研究所の個人情報保護方針(<http://www.astem.or.jp/privacy/index.html>)及び個人情報取扱(<http://www.astem.or.jp/biocity/>)をご確認ください。



京都テルサ テルサホール

(JR京都駅・八条口西口から南へ徒歩15分)

後援(予定含む): セルロース学会、経済産業省、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(一財)バイオインダストリー協会、(公社)新化学技術推進協会、(公社)高分子学会、(社)日本材料学会